

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
生活の中の数学 Accessible Mathematics		1年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(就職試験対策を兼ねる)	無し
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
無し				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
無し				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
小林大輔	講義棟1F	火曜～金曜 (授業、会議時間以外)		授業中に指示します
授業の概要				
日常生活の中で積極的に数学的な思考をすることが、就職試験で出題される数学の問題を解く際に役立つ。本講義では採用試験で出題される数学全般にわたって学習する。				
授業の目標				
記号を含んだ数式を計算できるようにする。 1次・2次方程式を解くことができるようにする。 平面・空間図形の問題を解くことができるようにする。 資料の整理ができるようにする。				
授業の方法				
解き方の工夫などについて教員と学生間で意見を出し合いながら講義と演習を繰り返す。				
学習の成果(学習成果)				
採用試験で出題される数学の問題を解くことができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	数の概念			
第2回目	式と計算			
第3回目	有理数			
第4回目	実数 小テスト①			
第5回目	方程式と不等式 小テスト①の解説			
第6回目	図形の性質			

第7回目	関係と関数
第8回目	関数の性質
第9回目	様々な関数 小テスト②
第10回目	三角関数 小テスト②の解説
第11回目	場合の数
第12回目	数列
第13回目	極限
第14回目	微分
第15回目	積分 小テスト③とその解説
事前・事後学習	インターネットや図書館を活用して、授業で不明であった点は必ず次回授業までに調べておく、あるいは科目担当者に質問すること。

成績評価の方法と基準

評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度		加点はしないが、受講態度が著しく悪い場合は減点し、場合によっては退室してもらう。
レポート		
調査報告書		
小テスト		
試験	100%	評価の基準は以下の通り。 S:90%以上、A:80%以上、B:70%以上、C:60%以上、D:60%未満
発表内容（態度含む）		
その他		

教科書と参考図書

教科書は使用せず、必要に応じてプリントを配布する。

履修上の留意点・ルール

私語は慎むこと。